

## 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

作成日 平成20年5月25日

事業所番号	2770108583	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	医療法人 一隅会	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
事業所名	グループホーム 美原	評価調査日	平成 20 年 5 月 22 日
所在地	堺市美原区太井91番地 電話 072-369-1611	評価確定日	平成 20 年 5 月 30 日

## 【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	13 常勤 13 人	非常勤	0 人 常勤換算 7.3 人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 造り 2 階建ての ( 1 階～ 2 階部分)
-------	-------------------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	39,900 円	その他の経費 (月額)	2,205 円	
敷金	無			
保証金の有無	有 280,000 円			
(入居一時金を含む)	償却 有り	償却 4 年 6 ヶ月		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または 1 日当たり		1,200 円	

## (4) 利用者の概要 (5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護 1	4 名	要介護 2	7 名		
要介護 3	5 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名		
年齢 平均	82 才	最低	66 才	最高	92 才
(5) 協力医療機関名	松浦歯科診療所 医療法人清恵会 清恵会病院				

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

2階ユニットの運営も軌道に乗って来て、先住の1階ユニットと共に、利用者の皆さんは日々の生活を楽しんでいる。また、運営者の病院院長が、週3回の往診を励行されており、利用者やご家族は安心しておられる。ただ、ホームの悩みとしては、比較的、交通が不便であることで職員の応募者が少なく、運営者は職員を常勤職員として(パートではなく)採用しているが、補充の困難さを抱えている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	服薬準備はミス防止のため、担当者が2人で確認するようにしている。また、職員の研修については計画に従って実施しているが、更なる向上を図るため、目下、検討中である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者は計画作成担当者、介護主任担当者を始め、職員とカンファレンスを重ね、項目ごとに反省と改善点の検討を加えて記入を行っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、平成18年7月以後、ほぼ2ヶ月ごとに開催している。検討内容は、最近ではホームの現状報告以外に、出席者からの各種福祉関係を含めた情報交換を実施している。その他、この会議の席上で、美原区内の3ヶ所のグループホームが、相互に出席しての交流も行われている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	2・3ヶ月ごとに管理者が、詳細に記載した近況報告書を送っている。運営者の病院院長も、週3回の往診を休まず実施しており、このことは、ご家族アンケートで、満足していることを伺うことが出来る。時折り出てくる、ご意見やご苦情等については、直ちに管理者が運営者とも相談して対処している。その他、ホーム内の清掃は行き届いていて美しく、壁面には壁飾りが目を楽しませている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホームの所在地がいわゆる農村地帯にあり、集落からも少し離れた国道沿いのためか、地域の方々との日常の対話は難しい。散歩途中での出会いで挨拶を交わしているが、運営推進会議での出席から、地元の方々との交流は、少しずつ深めるよう努力している。そのせいか、ホーム周辺の農地で、仕事上の農家の方々との対話が、よく行われているようである。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念「安心 尊厳 満足」を玄関、ホーム事務室に掲示して、職員の言動の基本とするよう、折々に訴えている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を日々の職員の実践の基としている。職員はこのホームでの勤務に誇りを持って当たっている	○	職員と共に経営理念を基にした介護の実践と、レベルアップに励んで欲しい、運営者による職員への訓示も期待したい
<b>2 地域との支えあい</b>					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地理的な環境から長期の視野を持って、地域の一員として、自治会等との交流を進めている、運営推進協議会での出席者の方々との交流により更に深めるよう、今後に期待したい		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	半数以上の職員が、外部評価での反省、検討等の経験を2回以上経験しており、介護のレベルアップに努力をしている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、平成18年7月27日の第1回から現在まで、定期的に2ヶ月ごとに開催している		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の関係者との面接は、今までのところ、あまりないが、包括センターの職員や、他事業所の介護支援専門員の指導を受けている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時には担当職員、管理者が直接面談をして、日々の生活状況や言動等について説明している		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に面談している中では、運営に関するご意見は頂いていないようですが、ご家族の質問、提案、意見等は積極的にいただけるよう努力している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

### 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		外部の研修会にも積極的に参加を奨励している。内部研修会の開催回数については更なる検討を期待したい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		美原区内の3事業所が、運営推進会議に出席し、積極的に情報交換をし、質の向上を目指して取り組んでいる

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		利用相談の初期の段階では、十分説明を実施している。又、体験入所もしてもらい、レクリエーションの中にも入ってもらっている。
--	----	----	--	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員も含めて、皆が家族という関係を構築できたらと模索している。職員は利用者が暑中見舞、年賀状を送る援助をしている
--	----	----	--	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		利用者の昔からの生活歴、癖、性質等をはじめ、毎日の介護の中での発見の記録集積を始めており、介護計画の資料ともなっている
--	----	----	--	--	---

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		上記の記録も含めて、職員間で話し合い、多方面からのアセスメントを行って、ケアプランの作成をしている。
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	日常の職員間での情報交換により、利用者の状況が共通理解となっており、計画作成が出来ている。必要な場合医師、看護師を交えた検討を行っている		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	運営者である病院院長の週3回の往診は、本人、家族の安心をいただいている。更に、夜勤の職員にも安心を与えている。ホームの他の能力を活かした支援も、適宜、行っている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	運営者である病院院長の週3回の内科往診を始め、歯科医師の毎週1回の往診をして頂いており、本人やご家族に喜んでいただいている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	必要を察知した時点で、利用者、ご家族に医療関係者を交え、現状、見通し等の話し合いをし、全員で、方針を共有している。職員にもカンファレンスで共通情報としている。		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	一人ひとりの感性を知った上で、職員間で共通理解を持ち、プライバシーへの配慮も行っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	運営の決まりに拘らず、出来る限り希望に沿えるよう支援している		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る能力を、出来る限り活かせるよう、食事の手伝いをしてもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		すべての希望に沿えることは出来ないが、柔軟に対応している。季節によっては、入浴剤で楽しんでもらっている

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		掃除、室内でのレクリエーションや食事の手伝い、花壇や野菜作り、外気浴等で楽しんでもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		個々の希望によって、適宜、外出を支援している

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		ホームを出れば、すぐトラックが多い幹線国道のため、玄関ドアは鍵が掛けられている。事故防止上、やむをえないと思われる
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		消防署の指導による避難訓練は、年2回実施されているが、ご近所の事業所には緊急時の協力をお願いしている

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		一人ひとりの食事摂取量のチェックは行われている。又、必要に応じて水分摂取量のチェックも行っている
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		リビング・廊下の壁に季節に応じた飾りを、利用者や職員の手作りで掲示している。ホームの敷地はやゝ広く、建物の横と裏側に少しの空き地があり、プランターに、一人ひとりの名札付きで決められていて、各自が世話をしている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		好みに合わせて、個室内は家具・道具類を持ち込んで楽しんでいる